

屋外設置形(BL 認定品)

ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

型 番	型 式 名	号 数
133-T100型	GS-2400W	24号
133-T102型	GS-2400T	
133-T105型	GS-2400B	
133-T110型	GS-2000W-OG	20号
133-T112型	GS-2000T-OG	
133-T115型	GS-2000B-OG	
133-T120型	GS-1600W	16号
133-T122型	GS-1600T	
133-T125型	GS-1600B	

このたびはガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番をお知らせください。

もくじ	ページ
安全に正しくお使いいただくために……………	1
この取扱説明書の表示について……………	1
機器本体の表示について……………	1
必ずお守りください……………	2
各部の名称とはたらき……………	6
ご利用前の準備……………	9

お湯を使うには(リモコンなしで使う)……………	9
お湯を使うには(別売品のリモコンを使う)……………	10
優先を切り替える……………	12
浴槽にお湯張りをするには(湯量おしらせ機能付リモコン)……………	13
湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする……………	13
湯量(お湯張り量)の設定……………	14
浴槽にお湯張りをするには(オート止水機能付リモコン)……………	15
オート止水機能を使ってお湯張りする……………	15
お湯張り温度・お湯張り量の設定……………	16
チャイムや音声ガイドの音量を調節する……………	17
浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)……………	18

冬期の凍結予防をするには……………	19
点検のポイント・お手入れのしかた……………	22
故障かな?と思ったら……………	24
アフターサービスについて……………	27
「あんしん点検」のおすすめ……………	28
仕様一覧……………	29
保証書……………	裏表紙

お使いいただく前に

使いた

長くお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX) 参照ページを示しています。

🔊

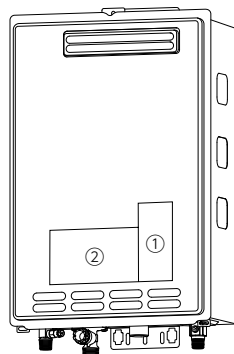
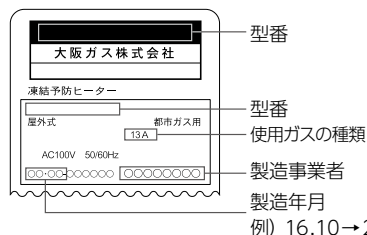
おふるに入れます リモコンから流れる音声を示しています。(音声は例です)

■機器本体の表示について

機器本体に記載してある製品の型番をご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①銘板

型番・型番・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



(図は133-T100型を示します)

②使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

●燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。
- ②ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
- ③お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの「入」/「切」をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺で電話を使用しない
- 炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



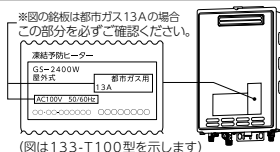
火気禁止

⚠警告

機器の銘板を確認

●機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

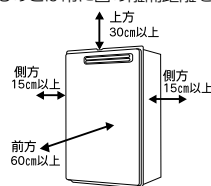
●転居時の注意は(→P.27)



必ず行う

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

●この機器のガス配管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事に専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご相談ください。



必ず行う



禁止



必ず行う

ソーラーシステムと接続する場合

- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度よりも高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用し、手で温度を確認してからご使用ください。
- 別売リモコン(138-T001/T002型)を設置する場合は、ソーラーシステムと接続できません。



禁止

必ずお守りください

警告

給湯・シャワー使用時や入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・給水温度が高いとき
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・機器が故障したとき



- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。
- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。



怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ①給湯栓を閉める。
 - ②リモコンの運転スイッチを「切」にする。
 - ③給水元栓・ガス栓を閉める。



- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
 - ①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
 - ②お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。



このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工をしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使用方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグに触らない。感電のおそれがあります。



必ずお守りください

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなどの給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



排気口について

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。台所リモコン・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てない。故障の原因になります。



お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。
- 子供を機器の周辺や直下で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近に触らない。やけどのおそれがあります。



乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼する。もし、お客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。



配管カバー(または据置台)について

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける(→P.23)



お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく短めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 通電復帰後は、リモコンの給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。

雷が発生しているとき

- 雷が降り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



断水のとき

- 給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには使用しないでください。飲用や調理用には適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

必ずお守りください

お願い

通水使用の禁止

●**運転**スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

飲用や調理用にお使いのときは

●機器内に長時間たった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用や調理用には使用しないでください。

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

●水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

日常の点検・お手入れ

●浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はフレンザーやアンモニア水(10%程度)などでふき取ってください。

積雪時の閉塞について

●積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口がふさがれないように注意してください。異常着火・燃焼不良の原因になります。

電源プラグを抜かない

●お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

市販の補助用具は使用しない

●事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

リモコンの扱いについて

●リモコンはお子さまがいたずらしないよう注意してください。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができな高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周辺には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。

塩ビ管の使用について

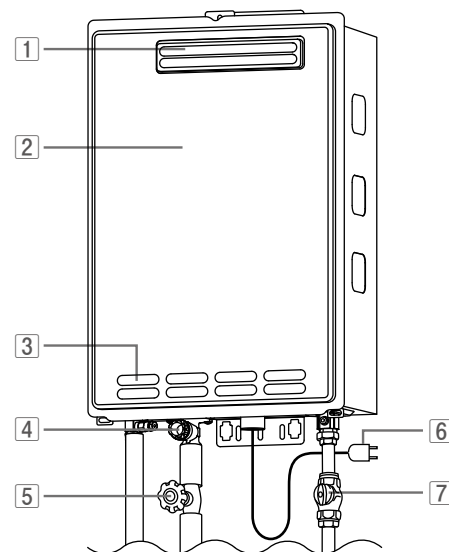
- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

□機器本体(図は133-T100型を示します)



- 1 排気口**
排気が出ます。
- 2 フロントカバー**
- 3 給気口**
- 4 水抜き栓(給水口フィルター)**
給水口フィルターを掃除するときを外します。(→P.23)
- 5 給水元栓**
- 6 電源コード / 電源プラグ**
- 7 ガス栓**

湯量おしらせ機能付リモコン

オート止水機能付リモコンとは併用できません。

台所リモコン(別売品)
[138-0055型]

浴室リモコン(別売品)
[138-0056型]

増設リモコン(別売品)
[138-0057型]

オート止水機能付リモコン

湯量おしらせ機能付リモコンとは併用できません。

台所リモコン(別売品)
[138-T001型]

浴室リモコン(別売品)
[138-T002型]

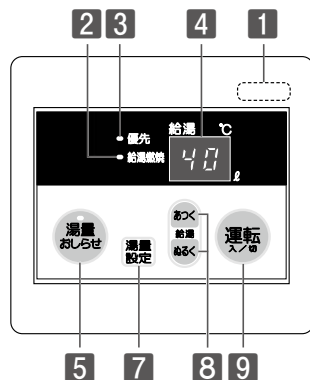
リモコンコード

各部の名称とはたらき

台所リモコン(138-0055型)、浴室リモコン(138-0056型)、増設リモコン(138-057型)を取り付けている場合は、湯量おしらせ機能が使用できます。
オート止水機能付リモコンとは併用できません。

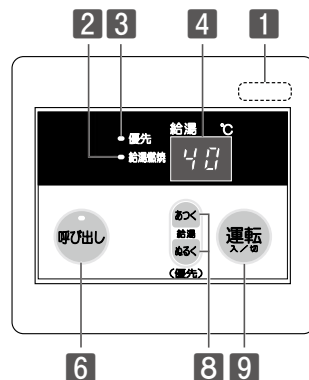
□ 台所リモコン(別売品)(138-0055型) 増設リモコン(別売品)(138-0057型)

※防水タイプではありません。



□ 浴室リモコン(別売品)(138-0056型)

浴室リモコンには湯量お知らせ機能がありません。



1 リモコン型番

2 燃焼ランプ(赤)

給湯燃焼中に点灯します。

3 優先ランプ(緑)

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度の調節ができます。(→P.12)

4 給湯温度表示

通常は給湯の設定温度を表示します。(→P.10)
湯量設定時には、お湯張り量を表示します。(→P.14)

5 湯量おしらせスイッチ / ランプ(緑)

浴槽にお湯張りをするときを押します。
設定した湯量になるとブザーでお知らせします。(→P.13)
湯量おしらせランプは、湯量おしらせスイッチが「入」のときに点灯します。

6 呼び出しスイッチ / ランプ(緑)

台所・増設リモコンを取り付けている場合、スイッチを押すと台所・増設リモコンでブザーが鳴ります。
呼び出しランプは、呼び出しスイッチを押すと点灯します。スイッチを離すと、5秒間点滅します。(→P.18)

7 湯量設定スイッチ

湯量を設定するときに押します。(→P.14)

8 給湯温度スイッチ

給湯温度・湯量を調節するときに使用します。
浴室リモコン(138-0056型)は優先を浴室リモコンに切り替えることもできます。(→P.12)

9 運転スイッチ

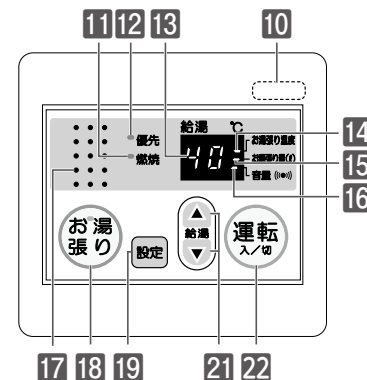
運転の「入」/「切」をするときに押します。

各部の名称とはたらき

台所リモコン(138-T001型)、浴室リモコン(138-T002型)を取り付けている場合は、オート止水機能が使用できます。
湯量おしらせ機能付リモコンとは併用できません。

□ 台所リモコン(別売品)(138-T001型)

※防水タイプではありません。



10 リモコン型番

11 燃焼ランプ(赤)

給湯燃焼中に点灯します。

12 優先ランプ(緑)

優先ランプが点灯しているリモコンで給湯温度の調節ができます。(→P.12)

13 給湯温度表示

通常は給湯の設定温度を表示します。(→P.10)
設定変更時には、お湯張り温度・お湯張り量・音量を表示します。(→P.16~17)

14 お湯張り温度変更表示

点灯しているときにお湯張り温度の変更ができます。(→P.16)

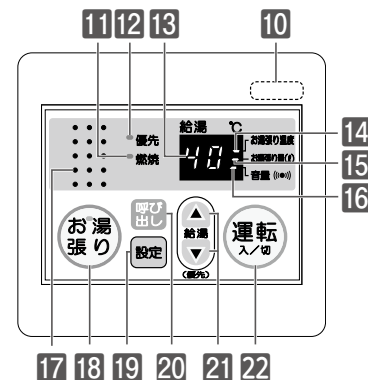
15 お湯張り量変更表示

点灯しているときにお湯張り量の変更ができます。(→P.16)

16 音量変更表示

点灯しているときに音量の変更ができます。(→P.17)

□ 浴室リモコン(別売品)(138-T002型)



17 スピーカー

18 お湯張りスイッチ / ランプ(緑)

浴槽にお湯張りをするときを押します。
設定した湯量になると出湯を停止し、音声でお知らせします。(→P.15)
お湯張りランプは、お湯張りスイッチが「入」のときに点灯します。

19 設定スイッチ

お湯張り温度・お湯張り量・音量を設定するときに押します。(→P.16~17)

20 呼び出しスイッチ

台所リモコンを取り付けている場合、呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンでチャイムと音声で鳴ります。(→P.18)

21 給湯温度スイッチ

給湯温度・お湯張り温度・お湯張り量・音量を調節するときに使用します。
浴室リモコン(138-T002型)は優先を浴室リモコンに切り替えることもできます。(→P.12)

22 運転スイッチ

運転の「入」/「切」をするときに押します。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

□機器の準備

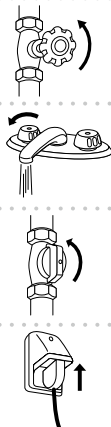
- 1 機器や機器周辺の点検・確認を行う
(→P.22)

- 2 給水元栓を全開にする
機器の下部にあります。

- 3 給湯栓を開ける
水が出ることを確認したら閉めます。

- 4 ガス栓を全開にする
機器の下部にあります。

- 5 電源プラグをコンセントに差し込む
コンセントは機器周辺にあります。



お湯を使うには (リモコンなしで使う)

給湯栓を開けると、お湯が出ます。お湯の温度は約60℃の高温(一定)になります。必ず混合水栓をお使いください。

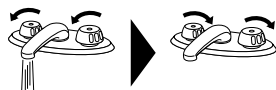
□お湯を使用する

- 警告** ●給湯・シャワーなどを使うときは、手のひらで温度を確かめてから使う。確認を怠ると、やけどのおそれがあります。

- 1 給湯栓を開けてお湯を出します



- 2 水を混ぜて温度を調節します
使い終わったら給湯栓・給水栓を閉めてお湯を止めます



お願い

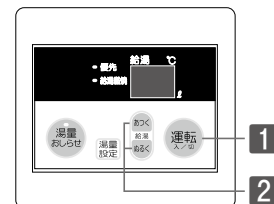
- やけど対策上、サーモスタート式混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

お湯を使うには (別売品のリモコンを使う)

□お湯を使用する

お風呂のシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は別売品のリモコンから操作します。

※リモコンの図は、138-0055型/138-0057型を示します。138-0056型・138-T001型・138-T002型も操作方法は同じです。



警告

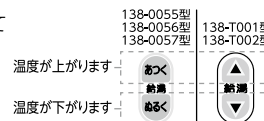
- 給湯・シャワーなどを使うときは、リモコンに表示の給湯温度を確認し、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。
- 給湯・シャワー使用中は使用者以外、温度の変更や優先の切り替え・運転スイッチを「切」にしない。突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。特にシャワー使用時は、必ず浴室リモコンを優先にして、リモコンに表示の給湯温度を確認してから使用してください。

- 1 運転を押して「入」にする



給湯温度を表示します。

- 2 給湯温度スイッチを押して
給湯温度を調節する



優先ランプの点灯を確認します。

※給湯温度が変更できない場合は、
給湯温度が変更できないときは
(→P.11)をご覧ください。

お湯を出す 給湯栓を開ける



お湯を出している間は、すべてのリモコンの燃焼ランプが点灯します。

お湯を止める 給湯栓を閉める



お湯を止めると、すべてのリモコンの燃焼ランプが消灯します。

※他の給湯栓が使用中のときは消灯しません。

□給湯温度の目安

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	40:工場出荷時
食器洗いなど	シャワー・給湯など					給湯など					高温			

お知らせ

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓の閉め忘れ確認のためアラーム番号"011"を表示し、燃焼が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉め、運転スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にしてからご使用ください。
- リモコンに表示の給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温などにより必ずしも一致しません。リモコンに表示の給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏場など水温が高い場合、給湯温度の目安を「食器洗いなど」に設定してもリモコンに表示の給湯温度より高い温度になる場合があります。必要に応じて水を混ぜ、湯温を確認してからお使いください。
- 台所リモコン(138-T001型)、浴室リモコン(138-T002型)をお使いの場合、50℃以上に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが「熱い温度にセットされました。注意してください。」とお知らせします。
- 給湯温度は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあとの通電復帰後は、40℃になりますので、再度設定してからお使いください。

お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）

お願い

- 55℃以下の温度でシャワーや給湯を使用しているときは、やけど防止のため60℃以上には設定変更ができません。設定を変更したいときは、一旦給湯を止めてから行ってください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。



- 給湯使用中でも優先ランプが点灯しているリモコンでは給湯温度の変更ができます。
- サーモスタート式混合水栓やシングルレバー混合水栓をご使用の場合、混合水栓の機種や構造により、温度調節ハンドルの示す温度よりぬるいお湯が出る場合があります。このような場合は、リモコンの設定温度をご希望の温度より5～10℃高めにしてください。

□ 給湯温度が変更できないときは

給湯温度を調節するには、リモコンに優先ランプの点灯が必要です。

□ お湯を使用する（→P.10）の操作で給湯温度の変更ができない場合は、操作しているリモコンに優先ランプが点灯しているか確認してください。点灯していない場合は■優先を切り替える（→P.12）をご覧ください。

優先とは

給湯温度の変更ができることを「優先」と呼び、給湯温度が変更できるリモコンには優先ランプが点灯しています。

1台の機器から供給されている給湯栓からは、常に同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯使用中に使用者以外が給湯温度を変更すると、出ているお湯の温度が変わり、使用者がやけどをしたり、思わぬ事故の原因になります。

このような事故などを防ぐために、優先ランプが点灯しているリモコンのみが給湯温度を変えられるようになっています。優先ランプは運転スイッチを「入」にしたリモコンに表示します。

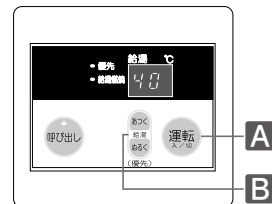


- 台所リモコン(138-T001型)で優先ランプが点灯していないときに給湯温度スイッチを押すと“運転スイッチを入れ直してください”と、お知らせします。

お湯を使うには（別売品のリモコンを使う）

■ 優先を切り替える

※リモコンの図は、138-0056型を示します。138-0055型・138-0057型・138-T001型・138-T002型も操作方法は同じです。



■ リモコンを優先にする

すべてのリモコンが同じ操作方法で、優先にすることができます。優先ランプは、運転スイッチを「入」にしたリモコン側で点灯します。

- A** 優先 を押して「切」にしてから
再度押して「入」にする



- ❗ ほかでお湯が使われていないか確認のうえ、行ってください。

リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。

■ 浴室リモコンを優先にする

浴室リモコンは、給湯温度スイッチ **あつく** (▲) または **ぬるく** (▼) を押して、優先にすることもできます。

- B** 浴室リモコンの **あつく** (▲) **給湯** **ぬるく** (▼) を押す
(優先)



浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示し、優先ランプが点灯します。

※138-T002型は **給湯** (優先) を押します。



- 優先を切り替えたとき、切り替え前の給湯温度が60℃以上だった場合、自動的に55℃に設定し直されます。
- 優先切り替え後の給湯温度が、50℃以上の場合には“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。
- 増設リモコン(138-0057型)を設置している場合、台所リモコンと増設リモコンは連動しています。台所リモコンの運転スイッチを「入」にすると、台所リモコンと増設リモコンの優先ランプが点灯し、増設リモコン(138-0057型)でも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

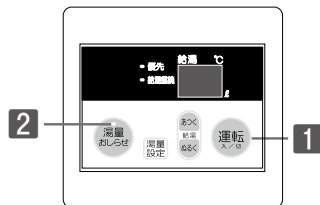
浴槽にお湯張りをするには (湯量おしらせ機能付リモコン)

台所リモコン(138-0055型), 増設リモコン(138-0057型)をご使用の場合

□湯量おしらせ機能について

設定した湯量になると、台所リモコンのブザーが約10秒間鳴ってお湯が張られたことをお知らせします。お湯は自動的に止まりませんので給湯栓を閉めてください。湯量おしらせ機能を使用しない場合は、湯量おしらせスイッチを押してランプを消灯させてください。

■湯量おしらせ機能を使ってお湯張りする



⚠注意

●入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 運転を押して「入」にする



給湯温度を表示します。
お湯張り温度(給湯温度)を変更するには、あつ・ぬるを押します。
※お湯張り温度の目安
ぬるい: 37~39℃
標準: 40~42℃
あつい: 43~47℃

2 湯量おしらせランプの点灯を確認し、浴槽の排水栓をしてから給湯栓を開ける



燃焼ランプが点灯します。
湯量おしらせランプが消灯している場合は、湯量おしらせスイッチを押します。

3 ブザーが鳴り、湯量おしらせランプが点滅したら給湯栓を閉める



燃焼ランプが消灯します。
湯量おしらせ機能を解除する場合は、湯量おしらせスイッチを押します。

お湯張り中止 給湯栓を閉める

お願い

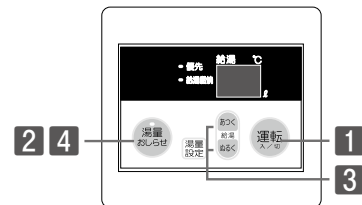
- 湯量おしらせ機能を使うときは、給湯栓のみ開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- 湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張りが減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使ったと、浴槽に150ℓ入れたところでブザーが鳴ります。)
- お湯張り完了のブザーが鳴る前に、次のことを行った場合、湯量カウントが初めから行われ浴槽からあふれることがありますのでご注意ください。
 - ①湯量おしらせ機能を使ってお湯張り中に一度すべての給湯栓を閉めたあと、再度給湯栓を開けて続けてお湯張りしたとき。
 - ②運転スイッチを一度「切」にして、再度「入」にしたとき。
- お湯張り中に停電があると水が流れたままになります。状況によっては、給湯栓を閉めて浴槽を空にしてください。
- お湯張り中に優先を切り替えるとお湯の温度が変わります。お湯張り中には優先を切り替えしないでください。

浴槽にお湯張りをするには (湯量おしらせ機能付リモコン)

台所リモコン(138-0055型), 増設リモコン(138-0057型)をご使用の場合

■湯量(お湯張り量)の設定

湯量(お湯張り量)は工場出荷時、180ℓに設定されていますが、お好みで設定することができます。



1 運転を押して「入」にする



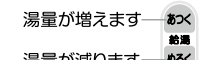
給湯温度を表示します。

2 湯量設定スイッチを押す



湯量が点滅します。

3 あつまたはぬるを押して、お湯張り量を設定する



湯量が増えます—あつ
湯量が減ります—ぬる

あつ・ぬるは、お湯張り量が点滅している間に押します。
※リモコンには上位2桁を表示します。
例) 200ℓ → 20

4 湯量設定を押す



設定が終了すると給湯温度を表示します。

湯量設定スイッチを押さなくても、約5秒たつと設定が終了して、給湯温度を表示します。

お湯張り量の目安(ℓ)																18:工場出荷時				
リモコン表示	5	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	40	50				
湯量(ℓ)	50	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300	320	340	360	400	500				

お願い

- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれることがあります。初めは工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際のお湯量を確認してから増減することをおすすめします。
- 湯量(お湯張り量)は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあとの通電復帰後は、180ℓになりますので、再度設定してからお使いください。



- サーモスタット式混合水栓をお使いの場合、水栓の設定温度をリモコンの設定温度より高くしてお湯張りを行ってください。低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタット式混合水栓の設定温度を常時使用している温度に下げてください。

浴槽にお湯張りをするには(オート止水付機能リモコン)

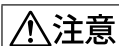
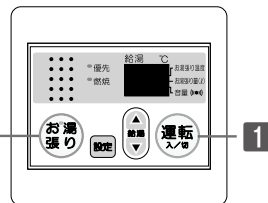
台所リモコン(138-T001型)、浴室リモコン(138-T002型)をご使用の場合

□オート止水機能について

設定した湯量になると自動的に出湯を停止し、台所リモコン、浴室リモコンの両方にチャイムと音声ガイドでお知らせします。

■オート止水機能を使ってお湯張りする

初めて操作するときは、工場出荷時の設定になっています。
お湯張り温度: 40℃、お湯張り量: 180ℓ



注意 ●入浴の際には念のためよくかきまぜ、湯かげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

1 **運転**を押して「入」にする



給湯温度を表示します。

2 **お湯張り**を押し、浴槽の排水栓をしてから給湯栓を開ける



お湯張りランプが点灯し、お湯張り温度を表示します。

お湯張りを始めます
おふろの栓をしてから蛇口を開けてください

燃烧ランプが点灯します。

設定したお湯張り量に達すると、自動的に
お湯が止まり燃烧ランプが消灯します
※音声ガイドで流れる「蛇口」は、給湯
栓のことをいいます。



おふろに入れます
蛇口を閉めてから、お湯張り
スイッチを押してください

燃烧ランプが消灯します。

3 給湯栓を閉めてから**お湯張り**を押す



給湯温度を表示し、お湯張りランプ
が点灯します。

お湯張り中止 給湯栓を閉めてから**お湯張り**を押す

お願い

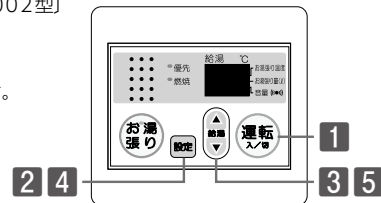
- オート止水機能を使うときは、給湯栓のみを開け、水と混ぜないでお湯張りしてください。
- オート止水機能を使ってお湯張り中に台所など他の場所でお湯を使うと、他で使った量だけ浴槽へのお湯張りが減りますので気をつけてください。(たとえば、設定湯量が180ℓのとき、台所で30ℓ使ったと、浴槽に150ℓ入れたところでチャイムと音声ガイドがお知らせします。)
- お湯張り中には優先の切り替え、給湯温度の調節ができません。警告音が鳴り、「お湯張りをしています。」とお知らせして受け付けません。
- お湯張終了後はお湯張り終了の操作をするまで、他の給湯栓を開けてもお湯はできません。すぐに給湯栓を閉め、**お湯張り**スイッチを押してください。
- お湯張り終了後に給湯栓を閉めないで**お湯張り**スイッチを押すと、1分間隔で給湯栓から水(配管内の湯)が出ます。(給湯栓が閉められたかどうかを機器が確認する動作です)チャイムが鳴り、「蛇口が開いています。蛇口を閉めてから、お湯張りスイッチを押してください。」と音声ガイドが流れます。そのまま10分以上給湯栓が閉められないと、リモコンに「CL」が点滅表示されます。給湯栓から水が出なくなり、チャイムや音声ガイドも流れません。給湯栓を開けてから、**お湯張り**スイッチを押して解除してください。(→P.26)
- お湯張り中に停電があると水が流れたままになります。状況によっては、給湯栓を閉めて浴槽を空にしてからお湯張りをやり直してください。
- お湯張りが終わった後は速やかに給湯栓を閉め、**お湯張り**スイッチを押してください。特に、サーモスタット付混合水栓をお使いの場合、給湯栓の機種や構造により、「高(温)」や「H」の位置でもお湯張り完了後に水が多少流れて、湯温の低下やあふれの原因になります。

浴槽にお湯張りをするには(オート止水機能付リモコン)

台所リモコン(138-T001型)、浴室リモコン(138-T002型)をご使用の場合

■お湯張り温度・お湯張り量の設定

お湯張り温度、お湯張り量は好みで設定することができます。



1 **運転**を押して「入」にする



給湯温度を表示します。

2 **設定**を押す



お湯張り温度変更表示が点灯し、
お湯張り温度が点滅します。

3 ▲または▼を押して
お湯張り温度を設定する



▲・▼は、お湯張り温度が点滅している間に押します。
※続けてお湯張り量を設定するときは、お湯張り温度が点滅している間に▲へ進みます。

4 **設定**を押す



お湯張り量変更表示が点灯し、お湯張り量が点滅します。

5 ▲または▼を押して
お湯張り量を設定する



▲・▼は、お湯張り量が点滅している間に押します。
※リモコンは上位2桁を表示します。
例) 200ℓ→**20**
設定が終了すると給湯温度を表示します。

しばらくたつと確定します

お湯張り温度の目安(℃)		40: 工場出荷時
37	38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	
ぬるい	標準	あつい

お湯張り量の目安(ℓ)		18: 工場出荷時
リモコン表示	5 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 40 50	
湯量(ℓ)	50 120 140 160 180 200 220 240 260 280 300 320 340 360 400 500	

お願い

- 浴槽の種類によっては、お湯張り量を多めに設定するとあふれることがあります。初めは、工場出荷時の180ℓでお湯張りし、実際の湯量を確認してから増減することをおすすめします。
- お湯張り温度、湯量は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあとの通電復帰後は、お湯張り温度40℃・湯量180ℓになりますので、再度設定してからお使いください。



- サーモスタット式混合水栓をお使いの場合、水栓の設定温度をリモコンの設定温度より高くしてお湯張りを行ってください。低いと水が混合されて設定湯量より多くお湯張りしますので、浴槽からあふれることがあります。また、お湯張り終了後は、サーモスタット式混合水栓の設定温度を常時使用している温度に下げてください。
- 設定スイッチを順に押して「お湯張り温度」「お湯張り量」「音量」と続けて設定することもできます。
- お湯張り中でも、お湯張り温度・お湯張り量を変更することができます。

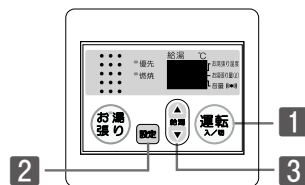
チャイムや音声ガイドの音量を調節する

浴室リモコン(138-T001型)、浴室リモコン(138-T002型)をご使用の場合

□音量の設定

音声ガイドの機能が付いているリモコン(138-T001型、138-T002型)をお使いの場合は、各リモコンで、チャイムや音声ガイドの音量を調節することができます。

※リモコンの図は、138-T001型を示します。138-T002型も操作方法は同じです。



1 運転を押して「入」にする



給湯温度を表示します。

2 音量変更表示が点灯するまで設定を押す



音量変更表示が点灯し、音量の数値が点滅します。

3 ▲または▼を押して好みの音量に設定する

▲・▼は、音量が点滅している間に押します。
しばらく▲・▼の押し操作がないと設定を完了します。

音量の目安

3(大):工場出荷時

0(無音)	1(小)	2(中)	3(大)
-------	------	------	------

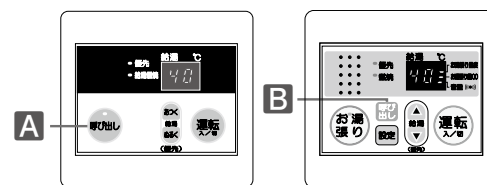
浴室から人を呼ぶ(呼び出しスイッチ)

浴室リモコン(138-0056型)、浴室リモコン(138-T002型)をご使用の場合

□呼び出し機能を利用する

浴室リモコンの呼び出しスイッチを押すと、台所リモコンで音や音声でお知らせします。

※運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作できます。



138-0056型

A 呼び出しを押す



呼び出しランプが5秒間点滅します。

台所・増設リモコンでは“ピーピーピー……”と鳴り、お知らせします。

138-T002型

B 呼び出しを押す



浴室リモコンでは、呼び出しスイッチを押している間チャイムが鳴ります。

台所リモコンでは、チャイムが鳴り、“お風呂で呼んでいます”とお知らせします。



- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、停電や電源プラグを抜いたあとの通電復帰後は、「大」になりますので、再度設定してからお使いください。
- 音量を「無音」にすると、音声ガイドは流れませんが、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには、台所リモコンの呼び出し音声は「大」で流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、およびスイッチ操作時の“ピッ”という音の音量は調節できません。



- インターホンの機能は付いていません。
- 浴室リモコンのみを取り付けている場合は、呼び出し機能は使えません。

使いかた

冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必ず必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2または3

← 外気温が-15℃を下回るとき -15℃より高くても風のある日

処置 3

← 長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

処置 2

給湯栓の水を流す方法

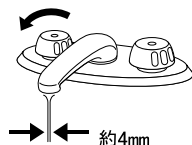
この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1

- 〔リモコンがある場合〕
運転スイッチを押して「切」にし、ガス栓を閉める
- 〔リモコンがない場合〕
電源プラグを抜く

2

- 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。
- ※サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にします。



- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの運転スイッチを「切」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
- サーモスタート式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をお使いの場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

⚠ 注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっているので冷えてから行ってください。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーを確実に取り付けます。(→P.23)
- 外した水抜き栓は再使用するときまで、なくさないように保管してください。

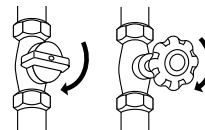
処置 3

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。
排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

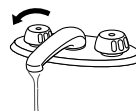
1

ガス栓と給水元栓を閉める



2

すべての給湯栓を全開にする

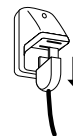


3

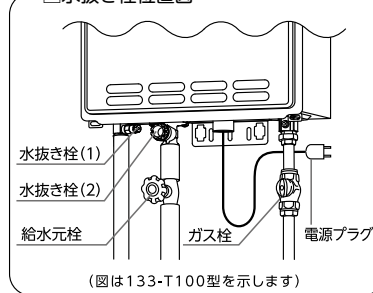
水抜き栓(1)(2)を外して水が出ることを確認する
水抜き栓の位置については、**水抜き栓位置図**(下記参照)をご覧ください。

4

運転スイッチを「切」にする
10秒以上経過後、電源プラグを抜く



水抜き栓位置図



(図は133-T100型を示します)

お願い

- 水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

長くお使いいただくため

冬期の凍結予防をするには

⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーを確実に取り付け。（→P.23） ●凍結による水漏れに気づいたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客さまの責任となります。
------------	---

□再使用するとき

水抜き後、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓(1)(2)およびすべての給湯栓を閉める
水抜き栓の位置については、**□水抜き栓位置図**（→P.20）をご覧ください。
- 2 給水元栓を開け、機器や配管から水漏れしていないことを確認する
- 3 すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認して給湯栓を閉める
- 4 ガス栓を開ける
- 5 電源プラグをコンセントに差し込む

□凍結してしまったとき




凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓および給水元栓を閉める
※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。
- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にする
[リモコンがない場合]
電源プラグを抜く
- 3 ときどき給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する
水が出てくれば使用できます。
通水したら、機器および配管から水漏れしていないことを確認します。
- 4 ガス栓を開ける
- 5 リモコンの運転スイッチを「入」にする
[リモコンがない場合]
電源プラグを差し込む

○お願い

- 水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元に戻して確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れしたりすると、そこから水漏れします。
- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、すべての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

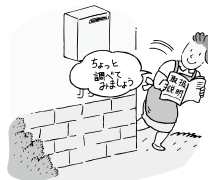
点検のポイント・お手入れのしかた

⚠警告	<ul style="list-style-type: none"> ●機器本体のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。 	 分解禁止
⚠注意	<ul style="list-style-type: none"> ●台所・増設リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤（塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤）、みがき粉（研磨剤の入った洗剤）を使用しない。リモコン本体が変色や変形することがあります。 ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないよう、手袋などを着用し十分注意してください。 	 禁止  必ず行う

□点検のポイント(月1回程度)

次の5つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。



□お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。

□定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くお使いいただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- 点検は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご相談ください。

○お願い

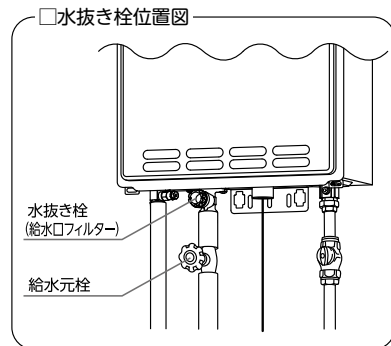
- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

□給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

- 1 給水元栓を閉める
- 2 水抜き栓(給水口フィルター)を外す
- 3 歯ブラシなどで洗う
- 4 水抜き栓(給水口フィルター)を元に戻す
- 5 給水元栓を全開にし、水漏れがないか確認する



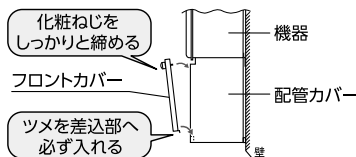
□点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を全開にして、リモコンの運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じられたときや、機器または配管から水漏れしているときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

□配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを元に戻してください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ねじを緩みが無いように確実に締める。



お願い

- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(給水口フィルター)を元に戻して確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れしたりすると、そこから水漏れします。
- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを取り外した場合、作業終了後にはフロントカバーを元に戻して、化粧ねじは緩みが無いように確実に締め付けてください。
※特に強風が予測される場合は、化粧ねじの緩みがないか点検をしてください。

故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞らずに水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が燃焼を停止し、水になります。給湯栓をもっと開いてください。
給湯栓を開いてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.9) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.4) 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.23) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの運転スイッチが「入」になっていますか。 お湯を1時間以上連続使用しませんでしたか。 凍結していませんか。(→P.21) 停電していませんか。(→P.4) 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.9) 138-T001型・138-T002型をお使いの場合、オート止水機能を使ってお湯張りし、お湯張り終了後に給湯栓を閉め、お湯張りスイッチを押しましたか。(→P.15)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。(→P.9) 給湯温度の設定は適切ですか。(→P.10) 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンに優先ランプが点灯していますか。(→P.12) 138-T001型・138-T002型をお使いの場合、オート止水機能を使ってお湯張りをしていませんか。(→P.15)
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中他の場所でお湯を使用するとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量に変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡が出てくる現象です。汚濁とは違い無害なもので、異常ではありません。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときは、排気ガス中の水蒸気が外気に触れて結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
運転中に異常音がる	点検を依頼してください。
ときどき水抜き栓から水が出る 給湯栓を閉めると水抜き栓から一瞬水が漏れる	水抜き栓をしっかりと閉めていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置がかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

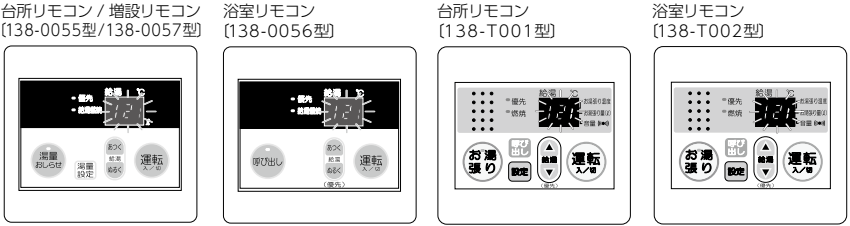
リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転スイッチを押しても「入」にならない	停電していませんか。(→P.4)
画面が表示しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.9)
アラーム番号が表示された	<input type="checkbox"/> アラーム表示について(→P.26)をご覧ください、必要な処置を行ってください。 台所リモコン(138-T001型/138-T002型)をご利用の場合
音声ガイドが出ない	音量の設定が「0」になっていませんか。設定を確認してください。(→P.17)
音が小さい	音量の設定は適切ですか。(→P.17)
音がこもる	スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

故障かな?と思ったら

□アラーム表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。(例:図のようにアラーム番号が表示されます)



お客さまで対処可能なもの		
アラーム番号	原因	処置
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。 運転スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
111	点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。
121	失火	運転スイッチを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 ※給湯栓を閉めることによりアラームが解除される場合があります。
CL	オート止水機能の解除忘れ	給湯栓を閉めて、お湯張りスイッチを押す。

◇処置をしてもなお、アラームが表示されるとき、上記以外のアラームが表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでお問い合わせください。

以下の場合には、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください		
アラーム番号	原因	状態
101	燃焼に異常が生じた	良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください。 そのまま使用すると「991」となり、機器の使用ができなくなります。
991	燃焼に異常が生じた	機器の使用はできません。 修理を依頼してください。

その他のアラーム									
031	311	391	510	511	611	701	721	741	751

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.24~26)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
 - (2) 型番 (例) 133-T100型
ガスの種類 (例) 13A
※銘板をご覧ください。(→P.1)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号など)できるだけ詳しく
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後でもあっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

BL認定品について

- BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付き」です。
- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店または、転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
※機器の故障や凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

- (1) ガス栓を閉めます。
- (2) 給水元栓を閉めます。
- (3) 機器の水抜きを行います。(→P.20)
- (4) 電源プラグを抜きます。

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

□あんしん点検について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
(法定点検ではありません)
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
(例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- ・点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換など)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。
- ・なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、別紙記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼されるとき】

- ・点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへご依頼ください。

□設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間*を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめどに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

仕様一覧

仕様表

項 目	内 容		
型 番	133-T100型 133-T102型 133-T105型	133-T110型 133-T112型 133-T115型	133-T120型 133-T122型 133-T125型
型 番	GS-2400W GS-2400T GS-2400B	GS-2000W-OG GS-2000T-OG GS-2000B-OG	GS-1600W GS-1600T GS-1600B
外形寸法 (mm)	幅350×奥行215×高さ520		幅350×奥行170×高さ520
質 量 (kg)	16(満水時17)		14(満水時15)
種 給湯方式	先止め式		
類 設置方式	W:屋外壁掛設置形 PS設置形標準設置	T:PS扉内設置形 前方排気延長	B:PS扉内設置形 後方排気延長
点 火 方 式	AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)		
水 使 用 水 圧	100～750kPa (1.0～7.5kgf/㎠)		
圧最低作動水圧	10kPa (0.1kgf/㎠)		
接 ガ ス	15A (R1/2) オネジ		
給 水	20A (R3/4) オネジ	15A (R1/2) オネジ	
給 湯	20A (R3/4) オネジ	15A (R1/2) オネジ	
電 源	AC100V (50/60Hz)		
リ モ コ ン 側	24V 以下		
消 費 電 力	3W		
使 用 時	W:52W T,B:72W	W:47W T,B:58W	W:42W T,B:51W
凍結予防時	106W		
電 源 コー ド	VCT (2心) 機外長 2.0m		
安 全 装 置	空だき防止装置 (水量センサ) ファン回転検知装置 (回転数検知方式) 電流ヒューズ (過電流防止装置) 漏電安全装置 (漏電スイッチ)	凍結予防ヒータ (ヒータ) 空だき安全装置 (ハイリミットスイッチ) 過熱防止装置 (温度ヒューズ)	立消え安全装置 (フレームロッド) 過圧防止安全装置 (スプリング式) 誘導雷保護装置 (サージアブソーバ)

能力表

型番	使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/min) 水温+25℃上昇 水温+40℃上昇		ガス接続
133-T100型 133-T102型 133-T105型	都市ガス	13A	50.0 {43,000}	24.0	15.0	15A (R 1/2)
	LP ガス		50.1 {3.58kg/h}	24.0	15.0	
133-T110型 133-T112型 133-T115型	都市ガス	13A	41.9 {36,000}	20.0	12.5	
	LP ガス		42.0 {3.00kg/h}	20.0	12.5	
133-T120型 133-T122型 133-T125型	都市ガス	13A	33.7 {29,000}	16.0	10.0	
	LP ガス		33.9 {2.42kg/h}	16.0	10.0	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa(2.0kgf/cm²)のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。